令和８年６月２６日

令和８年度 NPO 法人児童福祉の架け橋　事業計画書
（２０２６年4月１日～２０２７年3月３１日）

１）事業計画　（日程などは別紙参照）

①児童養護施設等に対し支援者からの寄付金を届ける事業

認知アップや施設様の現状を支援者に伝えるため、講演会の主催や施設取材を行いホームページに登録します。また、今年度からクラウドファンディングの仕組みを利用しての支援を始めます。今年度から特例認定 NPO を取得できたため、NEW 必要な物リストでご支援いただいた方で希望される方には寄附金控除の証明を出します。

●取材
目標：年間２回開催。(別途自立支援担当職員の訪問を行う予定。)

●当ポータルサイトへの詳細登録施設を拡大する
目標：岐阜県、三重県など近隣の地域での登録を増やす。登録 4 件程度。

●施設と支援者を結ぶ交流会
目標：１年に１回開催。

●講演会を開催。
児童養護に関する理解を深めるために、施設の方、退所児の方１人ずつに依頼し講演会を行う。
目標：年２回

●クラウドファンディングの活用。
目標：３ヶ月に１回程度、施設が希望するプロジェクトのクラウドファンディングを登録し施設へ寄付金を届ける。

②児童養護施設等に対し支援者からの寄付物品を届ける事業

アマゾンの必要な物リストや NEW 必要なものリストを活用して施設が必要としている物を支援します。今年度から特例認定 NPO を取得できたため、NEW 必要な物リストでご支援いただいた方で希望される方には寄附金控除の証明を出します。

●すぐに必要な物リスト（アマゾンの欲しいものリスト）を活用した、寄付物品支援
目標：１ヶ月に４０万円程度（２２０個）を目標にする

●定期的に必要な物リスト（旧 NEW 必要なものリスト）活用した、寄付物品支援状況（収益事業）
来年度からは退所児への寄付物品も積極的に登録し、支援を行う。
目標：利用施設２０施設。
１ヶ月に１０万円程度を目標にする。

●お手持ちの支援品などをマッチングする支援
依頼された分を対応。

③ケアリーバーに対する自立支援事業

交流会を定期的に行うことで、退所児のニーズを聞いたり、関係の構築を行い自立支援などに繋げる。

●退所児と経営者を結ぶ交流会
目標：３ヶ月に１回年４回開催。半分は在籍中の卒業間近な子どもたちを対象とする。

●退所児と支援者を結ぶ食事交流会（ながら会)。
イベントに関しては、参加してくれる退所児の子たちと企画を立て、実行する。費用は、会から持ち出しとするが、クラファンの仕組みなどを活用して、支援者からの支援金を求める。
目標：年４回程度。別の交流会と重なる月は除く。
（開催の例）
・児童福祉の架け橋事務所にて、一緒に作ろう食事会。
・成人式をできなかった子への晴れ着を着て記念撮影会。

●退所児の住宅支援。
親との不仲により実家で暮らせない、家賃が払えない、何かトラブルに巻き込まれたなど、現在の住居から一時的に避難を余儀なくされた退所児に対して一時的に住居を提供する支援。
一定のルールに従って、自立をするための援助を行います。
クラファンの仕組みなどを使い、資金調達を行う。
相談を受ける都度対応。

④その他、付随する事業

２）会員数目標
年間目標：正会員２５名、準会員１２口、法人会員４３口。
現状：正会員１６名、準会員８口、法人会員３４口。
純増目標：正会員９名、準会員４口、法人会員９口。

３）理事会開催
月１回計１２回開催。イベントと重なる時は、一緒に理事会を行う。

４）児童福祉の架け橋レター（報告書作成）報告
半期に１度発行。

５）その他
・児童福祉の架け橋の活動を応援してくれる退所児のグループを作る。

活動予算書（当初予算）

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

（単位：円）

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
Ⅰ　経常収益			
1.　受取会費			
正会員受取会費	492,000	420,000	72,000
準会員受取会費	144,000	78,000	66,000
法人会員受取会費	2,310,000	1,625,000	685,000
2.　受取寄附金			
受取寄附金	180,000	20,000	160,000
クラファン寄附金	24,000	0	24,000
3.　事業収益			
支援者寄附物品収益	480,000	600,000	△120,000
アフィリエイト収益	240,000	180,000	60,000
交流会等会費収入	630,000	480,000	150,000
4.　その他収益			
受取利息	5,000	200	4,800
雑収益	10,000	123,000	△113,000
経常収益計	4,515,000	3,526,200	988,800
Ⅱ　経常費用			
1.　事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
売上原価	1,342,000	896,000	446,000
業務委託費	660,000	600,000	60,000
諸謝金	0	10,000	△10,000
印刷製本費	0	42,000	△42,000
会議費	0	10,000	△10,000
旅費交通費	36,000	0	36,000
通信費	10,000	10,000	0
消耗品費	10,000	10,000	0
広告宣伝費	110,000	24,000	86,000
雑費	50,000	72,000	△22,000
その他経費計	2,218,000	1,674,000	544,000
事業費計	2,218,000	1,674,000	544,000
2.　管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	900,000	0	900,000
法定福利費	135,000	0	135,000
人件費計	1,035,000	0	1,035,000
(2) その他経費			

活動予算書（当初予算）

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

（単位：円）

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
印刷製本費	20,000	24,000	△4,000
会議費	88,000	24,000	64,000
旅費交通費	18,000	0	18,000
通信費	72,000	72,000	0
消耗品費	150,000	240,000	△90,000
修繕費	0	84,000	△84,000
水道光熱費	36,000	36,000	0
賃借料	330,000	330,000	0
保険料	0	22,000	△22,000
租税公課	10,000	0	10,000
支払（ＣＦ寄付等）手数料	150,000	0	150,000
雑費	200,000	120,000	80,000
その他経費計	1,074,000	952,000	122,000
管理費計	2,109,000	952,000	1,157,000
経常費用計	4,327,000	2,626,000	1,701,000
当期経常増減額	188,000	900,200	△712,200
Ⅲ　経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
Ⅳ　経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	188,000	900,200	△712,200
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期正味財産増減額	117,000	829,200	△712,200
前期繰越正味財産額	498,004	△228,225	726,229
次期繰越正味財産額	615,004	600,975	14,029